

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	英語のアスペクトについて : 完了形を中心に <修士論文及び卒論要旨>
Auther(s)	藤原, 彌生
Citation	広大言語 , 8 : 55 - 57
Issue Date	1968-12-10
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046299">http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00046299</a>
Right	
Relation	



- Kruisinga, E. A Handbook of Present-day English, Part II.  
 小西友七 意味は複合語の基準になるか(水門第6号より)  
 Marchand, H. The Category and Types of Present-day  
 English Word-formation  
 中島文雄 英語発達史・岩波全書  
 " 英文法の体系  
 Potter, S. Our Language  
 " Language in the Modern World  
 Sapir, E. Language 言語 泉井久之助訳  
 Smith, L.P. The English Language  
 Sweet A New English Grammar  
 上野景福 語形成, 英文法ライブラリー(25)  
 Weekly, E. The English Language  
 Zandvoort, R.W. A Handbook of English Grammar  
 (文責 森岡敬史)

## 英語のアスペクトについて —— 完了形を中心に ——

藤原 彌生

aspect とはいかなる事象であろうかという疑問から始められた。この研究は、元来デリケートな、把握難い aspect という事象を、英語において、認めようと試みたものである。英語においては、aspect の範疇と tense の範疇が明確に区別されていない為に、まず英語の aspect を認めるには、tense 範疇からそれを取り出す必要がある。そこで完了形に焦点を絞って、その aspect の性格を明らかにする為に、意味、機能の考察を行っているものである。

まず I でアスペクトの一般的考察を行い、I) では、次のように、aktionsart と aspect との関連において、定義している。

aspect は話者が動作を把握する場合に、任意に視点を定め、それにより、動作を進展の内において考えるか、外において考えるかを区別して表現するところの文体論、形態論的な範疇である。aktionsart は、動作の行なわれる様態の違いによって区別される語の意味の範疇である。(以

下、両者を総称してアスペクト、あるいは相と言ひ、一方を指すときは、aspect, aktionsart を用いる。)

続いてⅠのⅱ) では以上の定義に基づいて、英語のアスペクトの分類を次表のように定めている。

	基準	アスペクト		表現形式
aktionsart	時間的	瞬間相	継続相	意味的範疇 語接辞 修飾辞 aspect 助動詞
	部分的	始動相	終止相	
	頻度数		反復相	
aspect	話者の視点	完了相 結果相	未完了継続相	文法的範疇 文法形態 { 完了形 進行形

Ⅰのⅲ) では時制範疇と aspect の二つを取りあげ、両者の関連を色々な説について述べている。結局は、「法——アスペクト——時制の系列は、各々一応独立しながらも、実是一個不断の連続体である。近代の如何に時称的に整理された言語にあつても、現実の使用においては、その時称の分割には、常に剰余があり、時としては、時称の原則に背馳した用法を許さなくてはならない。」という、泉井先生の見解を前提として、完了形をとりあげる。Ⅱで完了形の考察に入る。1) で完了形の aspect の性格として Poutsma, Kruisinga, Curme, Jespersen, の文法家の機能分類を扱っている。即、1) 結果、2) 完了、3) 継続、4) 反復という4アスペクトをそれぞれとりあげて検討して次のように判断している。3)・4) は動作の aktionsart であり、附带的に表わされたものとして、完了形のより本質的な機能は、結果相という aspect としてもよいのではないか。

続いてⅱ) では Bryan 批判を行つて 1) aspect と aktionsart の混同、と、2) aspect のニュアンスの欠如とを指摘している。最後に時制範疇に比べて、aspect の法的性格の強いことを述べて、結論としては、たとえ、副次的にはせよ、英語において、時制範疇とは別に、aspect 範疇を設け、そこで完了形を取り扱うことは、可能であろうと言っている。

#### 参考文献

泉井 久之助 : 言語構造論 (創元社)

井 桁 貞 敏 : アスペクト研究序説

言語研究第30号 1956

Deutschbein, M : Grammatik der Englischen Sprache

- Vendryes : Sur l'emploi de l'auxiliaire «avoir»  
pour marquer le passé. (choix d'études  
Linguistiques et celtiques.)
- Curme, G.O. : Syntax.
- Kruisinga : Handbook of English Grammar.
- Poutsma, H : A. grammar of Late Modern English (part II  
sec 2)
- Jespersen, Otto: M.E.G. part IV. syntax.
- ” The Philosophy of Grammar
- 半田一郎 訳 : 文法の原理 (岩波書店)
- Charleston, B.M. Studies on the Syntax of the English Verb
- 中川清 訳 : 英語動詞のシンタクスの研究 (英語学ライブラリー)
- Bryan, The Preterite and the Perfect Tense in  
Present-day
- 中条和夫 訳 : 現代英語の過去と完了 (英語学ライブラリー)
- 中島文雄 : English 文法の原理 — 意味論的研究 — (研究社)
- 大塚高信 : 英文法論考 — 批判と実践 — (研究社)
- 太田朗 : 完了形・進行形
- 福村虎次郎 : 時制と態 (英文法シリーズ 11)
- Text-Bronte E.: Wuthering Heights.
- Woolf, V. : To Light House

(文責 山本美代子)

## 堀辰雄の文体について

三村佳代子

はしがき……人が文学者やその作品に迫る場合には、いろいろな方法や立場があるであろう。ここでは文体論という方向から、堀辰雄に接してみることにした。文体論はその基盤のちがいに、(1)心理学的文体論、(2)美学的文体論、(3)語学的文体論の三つの立場に分類できるが、その(3)に基き心理学的な方法を伴って論を進めてゆこうと思う。